

2026年度 第4回 兵庫県ユース審判トレセン



姫路審判委員長
松本 実 (2級/SI2)

8/1(土)に飾磨高校にて『姫路フェスティバル2026 セカンドチームリーグ』の試合を使い、『2026年度 第4回 兵庫県ユース審判トレセン』を開催しました。

動画も撮影し、後日映像分析も実施しました(8/18)。

ユース部員の大槻くんや姫路ユース審判トレセンOBたちにも試合を担当してもらい、松本実さんからアドバイスをいただき、ユース審判員にとって有意義な実技研修会となりました。



兵庫県ユース審判トレセン
齋藤 奏 (高1、3級)



姫路ユース審判トレセンOB
西田 拓駿 (2級)



姫路ユース審判トレセンOB
宇崎 僚 (3級)



姫路ユース審判トレセンOB
横田 流夢 (3級)

兵庫県ユース審判トレセン
上杉 泰輝 (高1、4級)



非常に暑い中でしたが、それぞれの課題と向き合い、ハーフタイムや1試合目を終えて受けたアドバイスを後半や次の試合でトライし、スポンジのように吸収していくユース審判員の成長には驚かされました。

何よりも『楽しかったです!!』という感想を聞いたことは、今回のトレセンの意義と目的は達成されたと感じています。

今後も、このような活動を通じて一緒に成長していけたらと考えています。



兵庫県ユース部員
大槻 隼人 (2級/カテⅡ)



兵庫県ユース部長
大塚 晴弘 (3級/SI2)

2026年度 第5回 兵庫県ユース審判トレセン



8/18(火)に姫路のカフェametuchiにて、

『2026年度 第5回 兵庫県ユース審判トレセン』を開催しました。

兵庫県からは、齋藤奏、上杉泰輝が参加し、京都府の小曽根氏から参加依頼があり、JFAユース審判員海外派遣プロジェクト@スウェーデンに参加した片岡詩さん(高3)とROOKIE CUP2026に参加した今井健晴くん(高2)も参加してくれ、貴重な体験談を共有してくれました。

【実施内容】

今回のメインテーマは、『審判員としてのスキルアップ』ということで、知識、技術だけでなく**パーソナリティーの大切さ**についても学びました。

- ◆自己紹介
- ◆審判員の目標と重点項目
- ◆競技規則確認クイズ(数字、得点を認めるかどうか&プレーの再開場所と再開方法)
- ◆試合映像分析
- ◆オフサイドの見極めや判定をしやすいするためのコツ
- ◆カラダとココロの整え方

